プロジェクター　１式

仕様書
平成２４年１１月

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

仕様書概要説明

１．調達の背景及び目的

プロジェクター調達の概要

本学ミレニアムホール及び講義室ＡＶシステムを現在更新中です。ネットワークを利用し、現状より扱いやすく多様な利用を目指しています。今回の調達は、現在利用しているＡＶシステムにおいて、交換部品等が製造中止となったミレニアムホールのプロジェクターを更新します。

２．調達物品名及び構成内訳

プロジェクター　1式（接続先は、既存ＡＶシステムを利用）

以上、搬入、配線及び調整一式を含む（詳細については、別紙「調達物品に備えるべき技術的要件」に示す。）。

３．技術的要件の概要

3-1. 本件調達物品に係わる性能、機能及び技術等（以下「性能等」という）の要求要件（以下「技術的要件」という）は別紙「調達物品に備えるべき技術的要件」に示す通りである。

3-2. 技術的要件は、すべて必須の要求要件である。

3-3. 必須の要求要件は必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。

3-4. 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、調達担当職員において、入札機器に係わる技術仕様書その他の入札説明書で求める提供資料の内容を審査して行う。

４．その他

導入に関する留意事項

(1) 平成２４年度において利用可能な電源は、単相交流100ボルト60Hzのみである。本仕様を満たす機器として提示するものの内､その電源部の仕様が上記以外のものである場合には適切な電源電圧及び周波数変換装置を含むこと。また、必要とされる配線は落札者が責任を持って行うこと。なお電源容量及び空調については、大学側で必要容量を確保するが、詳細については契約後に協議するのでそれに従うこと。

4.2 提案に関する留意事項

(1) 提案書はＡ４用紙（縦置き）を用いること。提案書では、提案された物品についての必要な情報を簡潔に説明すること。特に提案した物品の性能、台数などについ

ては、明確に記述すること。本仕様書の各要求項目と提案内容が一覧できる形式にまとめられていること。

(2) 本学では、提出された提案書の内容に基づき技術審査を行う。技術審査の過程では、物品やメンテナンス体制についての追加説明資料の提出などを要求する場合がある。この場合、要求された資料をすみやかに提出すること。

(3) 本仕様の一部または全部を他社の製品で満たしている場合にも、落札者が責任を持ってそれらの製品のメンテナンスを行うこと。

(4) 提供する各物品のメンテナンス体制については、具体的に説明を文書として提示すること。

（別紙）

プロジェクター　１式

調達物品に備えるべき技術的要件
平成２４年１１月

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

１．性能、機能に関する要件

技術的要求要件を述べる。

（１）プロジェクター　１式

機器

①　投影方式　3チップDLP方式、又は3×LCDﾊﾟﾈﾙ、または同等以上であること。

②　最大解像度1920ドット×1200ドット、WUXGA対応であること。

③　アスペクト比　16：9、16：10、4：3　で使用可能であること。

④　光出力（明るさ）は10000ルーメン以上であること。

⑤　制御用端子は、LAN及びRS232Cを使用可能であること。

⑥　電源はAC100V。プロジェクター設置場所に、専用コンセントを発注者が発注者負担で用意すること。

付属品・予備品・消耗品

①　操作用ワイヤレスリモコン　1個、電源コード　1本、アナログRGBｹｰﾌﾞﾙ（２ｍ）1本、ＡＶケーブル（３ｍ）1本、乾電池（必要数個）

②　光源ランプは、本体装着分と予備を合わせて、5千時間（=5年×千時間）使用できる数量を納入すること。

２．性能、機能以外の要件

設置環境

①　ミレニアムホール映写室内に設置。専用架台につり下げ設置、または、専用架台に台上設置、または、市販ワゴン台等に台上設置。架台等は受注者が受注者負担で用意する。既存プロジェクター架台を流用しても良い。

②　プロジェクター前面０．５ｍに、映写室窓のガラスがあります。

③　スクリーンサイズは幅８ｍ×高さ３ｍ。プロジェクターとの距離は約２４ｍ。

設置方法

①　ランプ取替にあたり、吊り下げ設置のプロジェクターを引き下ろしたり、台上設置のプロジェクターを持ち上げたりする必要が無く、簡易に取り替えられる設置方法とすること。

②　ミレニアムホールは、大学行事により年間を通じて使用しています。連続した行事のない2日間を据付・調整に利用できる日程とし、その日程・時間については発注者と受注者で協議するものとする。事前の調査等は、発注者と調整の上行うものとする。

③　ミレニアムホール内の照明・コンセント・ＡＶシステムを据付調整時に使用して良い。使用する場合の電気使用料は発注者の負担とする。

④　既存ＡＶシステム及び電源・情報コンセントと接続することに伴う、プロジェクタ

一設置場所付近の、電源配線は受注者の費用で受注者が用意する。

⑤ プロジェクターの使用時・未使用時に関わらず、鋭角や細く飛び出た部分、歩行時に怪我が予想される部分についてはクッション性のあるカバーを取り付けるなどの安全対策を行う。熱くなりやけどに注意する部分、踏みつけによる漏電の危険のある部分については、日本語及び英語による注意喚起の表示を取り付ける。

⑥ 震度６強の地震動により移動・転倒しないようにプロジェクターを設置する。

⑦ 撤去したプロジェクター及び付属品等は、受注者により適法構外搬出処分とする。

その他

① 納品直後に納入機器の取扱説明を、1時間程度1回行う。また、納品後1年以内に納入機器の取扱説明を、1時間程度1回行う。取扱説明の時期・時間等については、双方で協議する。

② 取扱説明書を紙媒体及びＣＤ－ＲＯＭを媒体として、次の数量を提供すること。電子媒体については、ＨＴＭＬもしくはＰＤＦ形式にて提供すること。

紙媒体　３部

ＣＤ－ＲＯＭ　１部

③ 設置作業中及び完了後の写真を１式提出すること。

メンテナンス体制等

導入後、１年以内に通常の使用により故障が生じた場合は、無償で修理することとする。

参考

① 既設プロジェクター：パナソニック(株)製TH-D9600J

② 消費電力 2,300ｗ（単相200Ｖ）

③ 既存設置場所：ミレニアムホール２Ｆ映写室床に専用架台にて設置。
機器本体は専用架台に吊り下げ型で取付。

④ 設置環境：未使用時　室温：気象条件による成り行き（－４～３６℃）
湿度：　〃　（２０～９０％）
使用時　室温：エアコンによる成り行き（２０～２８℃）
湿度：　〃　（１０～９０％）
設置場所　：　別紙平面図等参照

⑤ 既存ＡＶシステム概要　：　別紙系統図等参照

ミレニアムホール平面図　S＝1：300

注）器具類寸法は参考とする。

調整室機器類配置図　S=1/30

Correction						Name	奈良先端大オープンセンター舞台音響・映像設備工事
						Part No.	音響・映像システム図
		Designed	Drawn	CHK 1	CHK 2	APRV	File No. DRIG005	SCALE 1/ (SIZE:A1)